

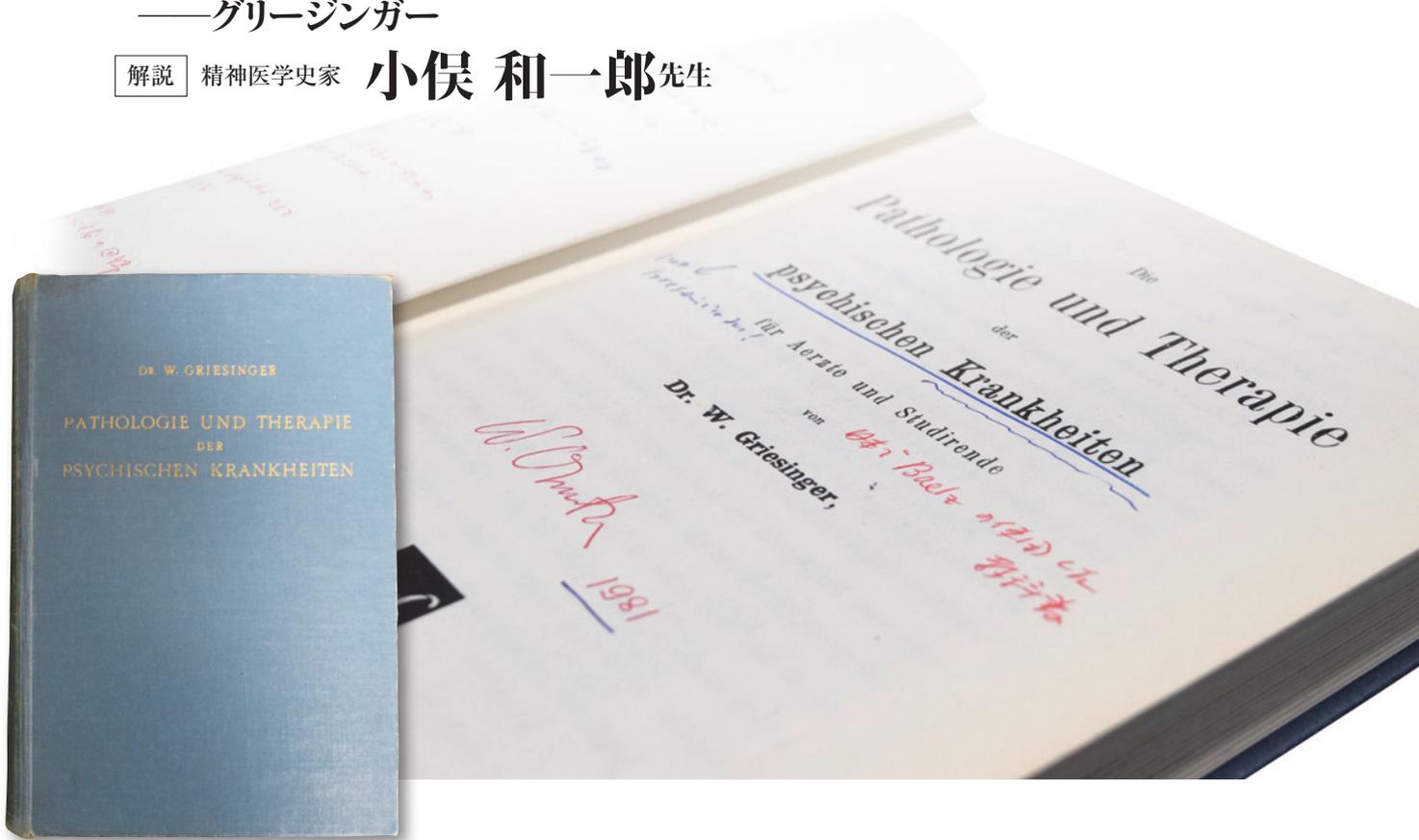
# Trends in Psychiatry

Theme

## 古典『Die Pathologie und Therapie der psychischen Krankheiten』

—グリージンガー

解説 精神医学史家 小俣 和一郎先生



### 書籍紹介

Wilhelm Griesinger. Die Pathologie und Therapie der psychischen Krankheiten für Aerzte und Studierende, Adolf Krabbe: Stuttgart; 1845 (2. Aufl, 2. Abdr, Adolf Krabbe, Stuttgart, 1867)

19世紀ドイツの代表的精神医学者ヴィルヘルム・グリージンガーによる精神医学の教科書。1845年の初版から12年を経て出版された第2版では、特に第3部「精神病の病型」が大きく増補され、全体のページ数も140ページほど増加している（写真はそのリプリント版）。彼の死後に出された第3版と第4版は第2版とほぼ同一の内容であり、第5版は別の研究者によって大幅に増補され、倍の分量になっている。本書で彼が提示した「精神疾患は脳の疾患である」というテーゼはあまりにも有名であるが、日本では帝国大学医科大学精神医学講座ではじめて採用された教科書がクラフト＝エビングのもの（1879年発行）であったことから、本書はほとんど顧みられることがなかった。